

神奈川県立岸根高等学校 令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

令和7年 11 月 27 日(木)15:50～ 岸根高等学校会議室

<出席者>

学校運営協議会委員(敬称略)

長島 由佳(すこやかサークル会長)、太田 早織(神奈川大学人間科学部助教)、長谷川 樹生(篠原幼稚園園長)、

三田 敏幸(岸根町内会長)、奥山 恭子(岸根高等学校 PTA 会長)、久祢田 啓嗣(岸根高等学校学校長)

職員

三上 実(副校長)、久保 裕紀(カリキュラム G 総括)、菊本 亘孝(キャリア支援 G 総括)、

森 直樹(サポート G リーダー)、織本 武泰(生活支援 G)、田口 和忠(地域連携協働 G 総括)、

川崎 陽香(学校管理運営 G 総括) ※G = グループ

<欠席者>

濱崎 利司(篠原中学校校長)、小澤 孝之(篠原西小学校校長)、丹羽 滋子(マーマシのはら保育園園長)、

望月 選(F・マリノススポーツクラブ理事)、森 知都(教頭)、横溝 賢治(事務長)

(1) 開会

① 校長挨拶

「インフルエンザが流行しており、本校でも学級閉鎖が出た。学校の方針について、忌憚ないご意見を頂きたい。」

② 会長挨拶

「アメフト部のボランティア参加を見て、地域貢献の重要性について再確認した。」

(2) 協議事項

① 令和7年度から4か年の学校教育目標について(確認)

② 令和7年度学校教育目標中間まとめについて

各グループからの概要説明

○カリキュラムG 久保総括教諭より

・公開研究授業の様子について

「他校の教諭、指導主事を招いて公開授業を行った。振り返り結果は第三回の協議会で共有する」

・授業評価について

「昨年度より数値が上がっており、授業改善の効果が見られる。生徒に対して結果を公開し、更なる改善を図る。」

○キャリア支援G 菊本総括教諭より

・目標①「自己と社会とのつながり」について

「1年次に企業等と連携する授業を行っており、夏期講習等でも外部とのつながりを意識した講座を展開している。」

・目標②「進路実現について」

「一般選抜の割合が増えており、進学意識が高まっている。総合型選抜も増えているのでボランティアや地域との連携を強めていきたい。」

○サポートG 森教諭より

・体育祭、文化祭について

「行事が入学の動機となっている。どちらの行事も生徒が主体となり盛り上がった。体育祭では、鶴見支援学校分教室との交流も行い、一緒に競技を行った。文化祭は約6000人の来場者があった。生徒と教員の距離感が近く、教員も一緒に楽しみながら行うところが岸根の良いところである。」

・部活動について

「部活動の加入率も高く、文化部を中心に力をつけている。」

○生活支援G 織本教諭より

・教育相談について

「SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)等、外部機関との相談を有効的に活用している。」

・生徒向けの講演会について

「コミュニケーションに関する授業を1年生で継続して行った。また、性教育講演会も行った。どちらの講演会も生徒は真面目に参加していた。3年生では、薬物乱用防止講座を行った。」

○地域連携協働G 田口総括教諭より

・1年間の目標①「振り返り」について

「保育園実習やすこやか祭りを通して、地域と関わる機会を作ることにはできた。一方で、係や委員会として動いている都合上、振り返りの時間を確保することが難しく、引き続きの課題である。」

○学校管理運営G 川崎総括教諭より

・目標①「環境整備」について

「ICT 機器に関するマニュアルを作成し、校内のWi-Fi環境を整備した。職員室や倉庫等の整理整頓を行い、安全な環境作りを行った。一方で、施設の老朽化が課題であり、事務と連携しながら改善していく。」

・目標②「防災意識」について

「防災避難訓練を年2回開催予定である。第2回の訓練ではぶれすとはいくえんと合同で開催予定である。より地域との連携を進めていきたい。」

・目標③「職員の事故・不祥事防止」について

「夏に特別支援に関する職員の人権研修を行った。コンプライアンスに関する自己不祥事防止研修を年3回実施予定である。今後も研修を継続して行う。」

(3) 質疑応答・意見交換

○神奈川大学 太田様より

・サポートGへの質問

「生徒と教員の距離が近いのは良い事だが、どのような介入の仕方をしているのか。」

→森教諭「教員にきちんと報告・連絡するようにしている。」

「生徒が主体的に行ったという実感はどのように感じているか。」

→森教諭「行事後には生徒向けの事後アンケートを行い、満足度や改善点を生徒から集めている。」

→田口教諭「地域連携に関しては、教員が介入しすぎも良くない、ある程度は生徒に任せる必要がある。」

・地域連携Gへの質問

「振り返りの方法が難しいとの事だが、一人一台端末を用いて、効率の良い方法でアンケートを行う方法等はないか。また、係や委員会だけでなく、その他の生徒が地域との学びを深める方法はあるか。」

→田口教諭「アンケートについては、次年度以降で検討していく。学校全体の取り組みとして、地域貢献 Dayでの地域清掃や、篠原西小学校とのクラブ交流を通して、全員が地域と交流する機会を設けている。」

○しのはら幼稚園 長谷川様より

「体育祭や文化祭が入学の動機となっていることが素晴らしい。行事をきっかけに学校をより良くしてほしい。」

○岸根町内会 三田様より

「学校と自治会で交流を持ちたいが、タイムラインが合わない。より余裕を持って日程調整をしたい。」

○OPTA 奥山様より

「文化祭で生徒が人助けをしていた様子が見られた。アットホームな文化祭だと感じる。」

○すこやかサークル 長島様より

「ボランティアや地域連携を主体的に行おうとしている姿勢が素晴らしい。また、係や委員会の生徒だけでなく、どの生徒も自己有用感を感じる場面を感じさせる必要がある。いきなり主体的に行うのは難しい。そのためにも、ボランティアの意義などを学ばせる機会を作ってはどうか」

(4) その他（連絡事項）

特になし

(5) 閉会

校長より

「大人が本気になれば生徒は伸びることを改めて認識できた。より良い学校作りのために尽力していく。」